

5(2) 館林ムジナモを守る会

かつて国の天然記念物に指定されていたムジナモの復活を目指し、多々良沼産ムジナモの種の保護・増殖、人工栽培技術の向上・確立、絶滅が危惧される貴重種を後生に引き継ぐことを目的に平成10年に設立しました。主な活動は下記のとおりです。

- ムジナモの保護増殖による生息数の拡大
- ムジナモの飼育を通じて自然環境への関心を高め
てもらうため、里親制度の充実と市民配布会の実施
- 多々良沼自然観察池など自然環境でのムジナモ放流生育
実験



ムジナモ

モウセンゴケ科の多年草
で水生の食虫植物

ムジナモ市民配布会 <7月末~8月初に開催>



会員が育てたムジナモを
持ち寄り、配布の準備 ⇒



ムジナモ家庭栽培 <市民配布株の生育記録>



ムジナモ放流 (上毛新聞掲載 2012.9.9)

上毛 H24.9.9

守る会が入野谷湿田に

国の絶滅危惧種に指定されている水生食虫植物「ムジナモ」の保護に取り組む、館林ムジナモを守る会（井野口勝則会長）は8日、館林市の県

立館林美術館近くの湿地、入野谷湿田に約500株を放流した。定期的にごみの除去などの手入れをしながら、自生できるか見極める。

よみがえれムジナモ

館林 自生池再生へ500株放流

ムジナモはモウセンゴケ科の水草で、水中に浮遊しながらミジンコやボウフラを捕らえる。かつて多々良沼をはじめ市内各地で自生していたが、戦後の水質悪化で消滅。現在、同会会員らが自宅で栽培し、自生池

ムジナモはモウセンゴケ科の水草で、水中に浮遊しながらミジンコやボウフラを捕らえる。かつて多々良沼をはじめ市内各地で自生していたが、戦後の水質悪化で消滅。現在、同会会員らが自宅で栽培し、自生池

少年時代に入野谷湿田で野生のムジナモを見たという副会長の荒井と井孫四郎さん(80)が6月、ムジナモ50株を試験的に放流したところ順調に成長。茎が分裂し、繁殖していること

も確認した。「長年保護に取り組んできたが、こんなに良く育つ環境は初めて」と荒井さん。餌のミジンコが多いことや、天敵のザリガニがいないことが好条件とみられる。

この日は、会員が家



ムジナモを放流した木枠を示す会員

庭などで栽培したムジナモを提供し、湿地に沈めた保護のための木枠内に数十株ずつ放流した。今後、会員が協力して定期的な手入れと観察を続ける。井野口会長(62)は「将来は木枠をはずし、自生池として復活させたい」と話している。

ムジナモ放流会 2012年 9月 8日

- ・ 多々良沼自然観察池
- ・ 入野谷湿田(上毛新聞掲載)

ムジナモ放流実験 <自然観察池 1の池>

2012年 9月 8日 放流



2012年11月4日 観察
すべて消滅



放流

入野谷湿田地域の航空写真



大復活のムジナモ群生

1920年 国の天然記念物指定 / 1964年 絶滅確認、指定解除



群生するムジナモ



ムジナモ観察に用意された踏み板（1）



ムジナモ観察に用意された踏み板（2）



現在の多々良沼



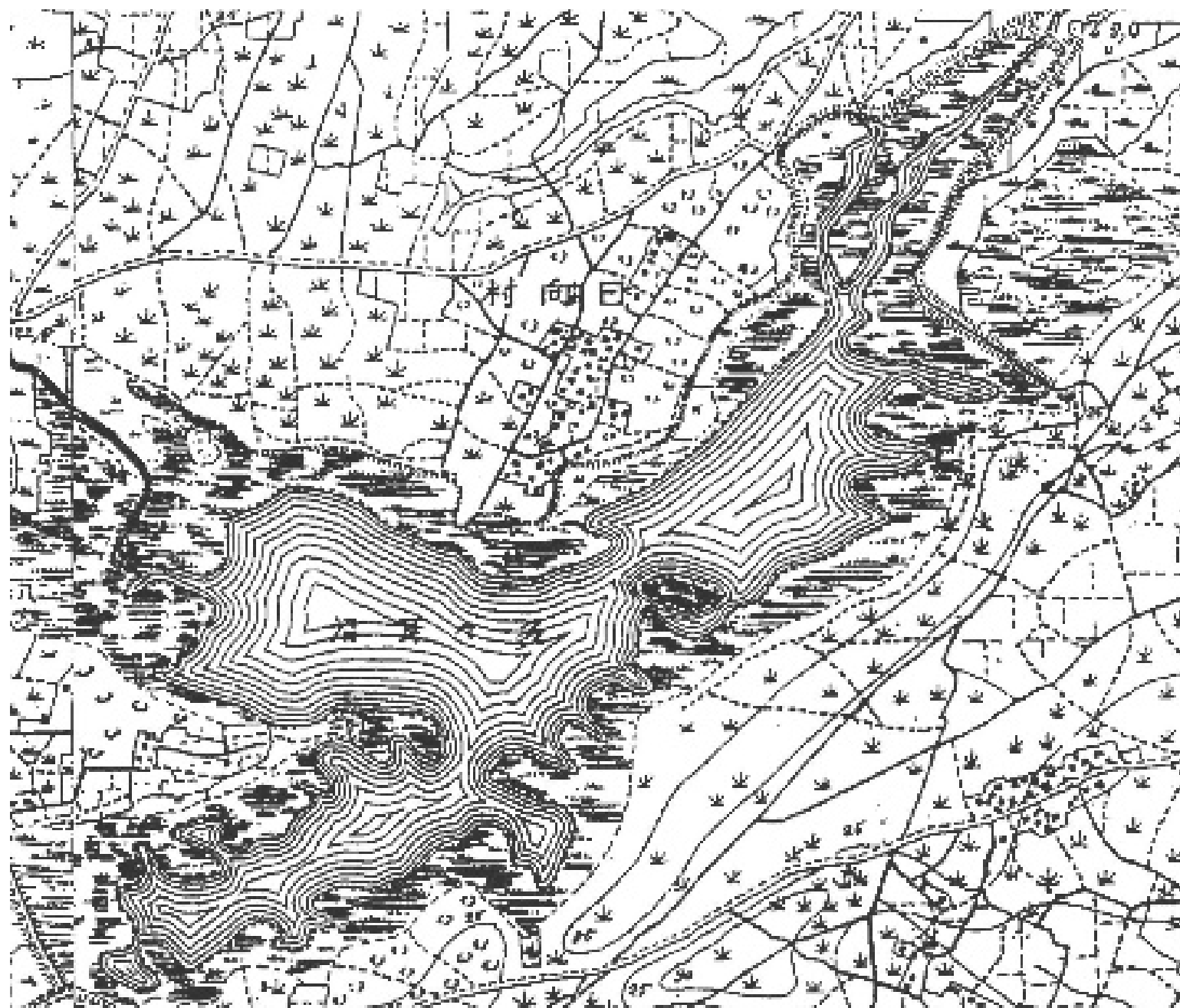
多々良沼 古地図

多々良村誌 昭和3年発行



多々良沼古地図

明治17年



おわりに

入野谷湿田は、過去の多々良沼に残る僅かな原生地であり、ムジナモが年間を通して生育できる水辺の環境であることが分かりました。しかしながら、容易に踏み入れない危険な地域でもあります。このムジナモ自生地の環境保全、さらに保護・観察活動を容易にする環境改善に、行政のご協力を強くお願い致します。

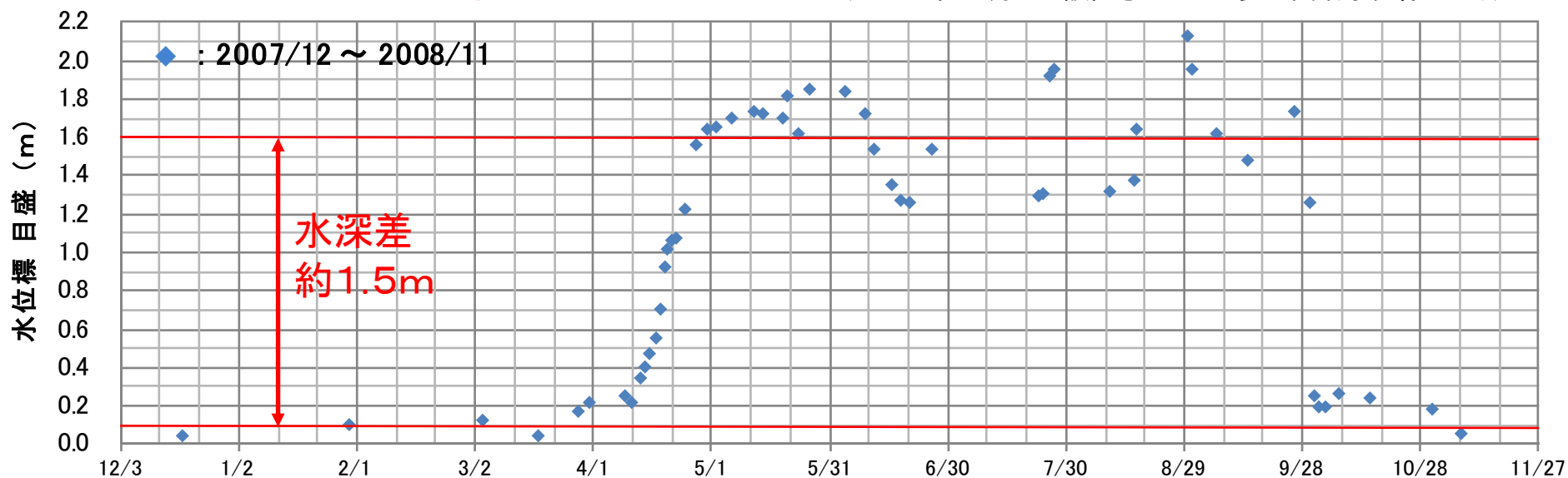


<ムジナモ自生地・入野谷湿田>

多々良沼の水位変動

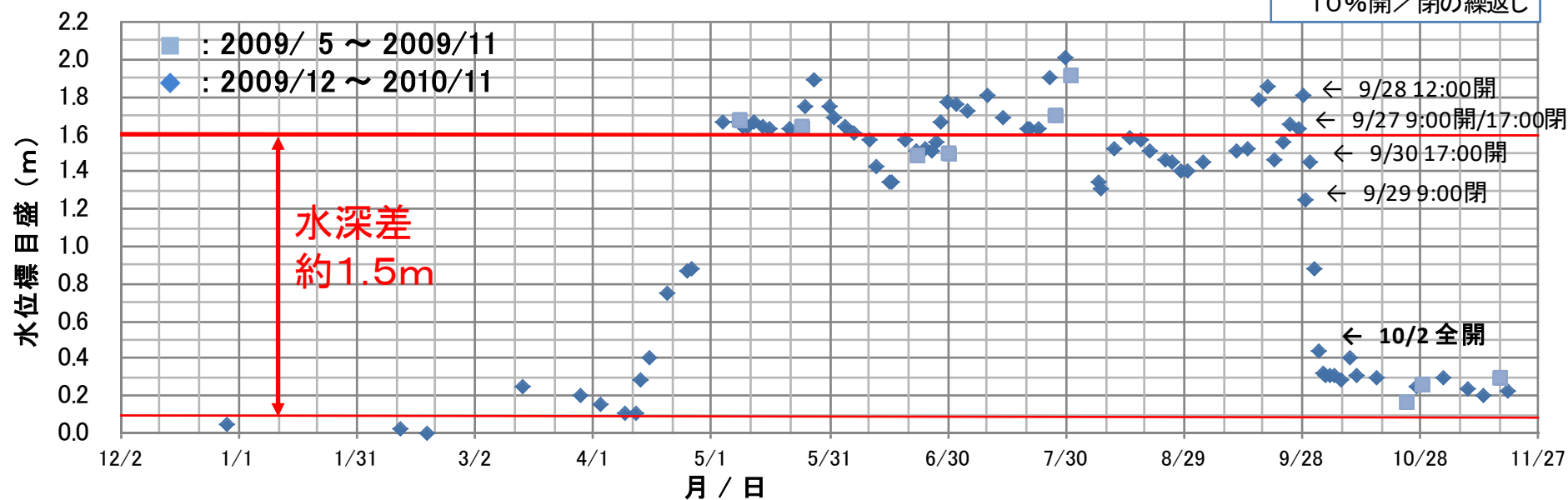
<2008年(旧水位標)>

(2008年11月まで設置されていた多々良沼水位標による)



<2009-2010年(新水位標)>

木戸堰落水調整試験
10%開/閉の繰返し



オオマリコケムシ

2010年10月 船着場棧橋下



5(3) 県立多々良沼公園指定管理者

群馬県立

多々良沼公園

指定管理者

J A 邑楽館林千代田町緑化組合





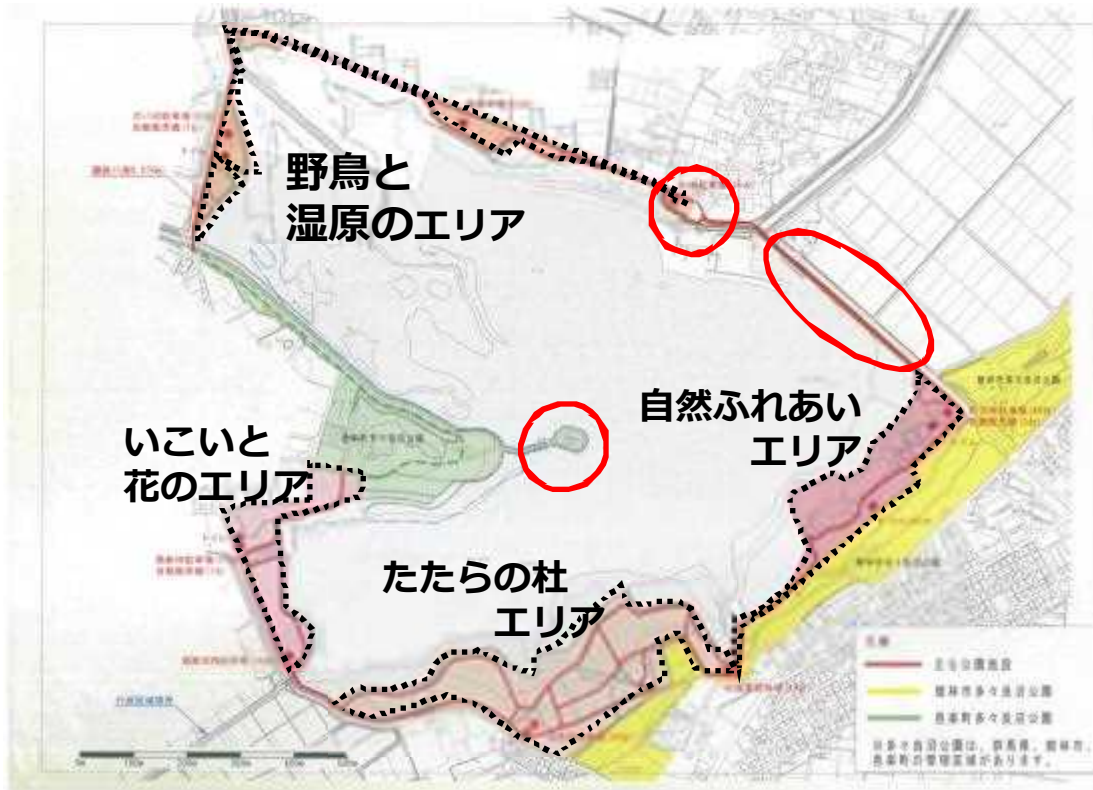
撮影：館林市史編さんセンター

多々良沼公園の概要

供用面積98ha



四つのエリア



自然ふれあいエリア

ボランティアセンター（管理事務所）
多目的広場・自然観察池 等

野鳥と湿原のエリア

ガバ沼（白鳥の飛来地）
柳の群落

いこいと花のエリア

遊具の設置・高台のあずまや
憩いの空間

たたらの杜エリア

公園内で最も広いエリア
雑木林や柳などの保全

☆夕日の小径

夕日・富士山のビューポイント

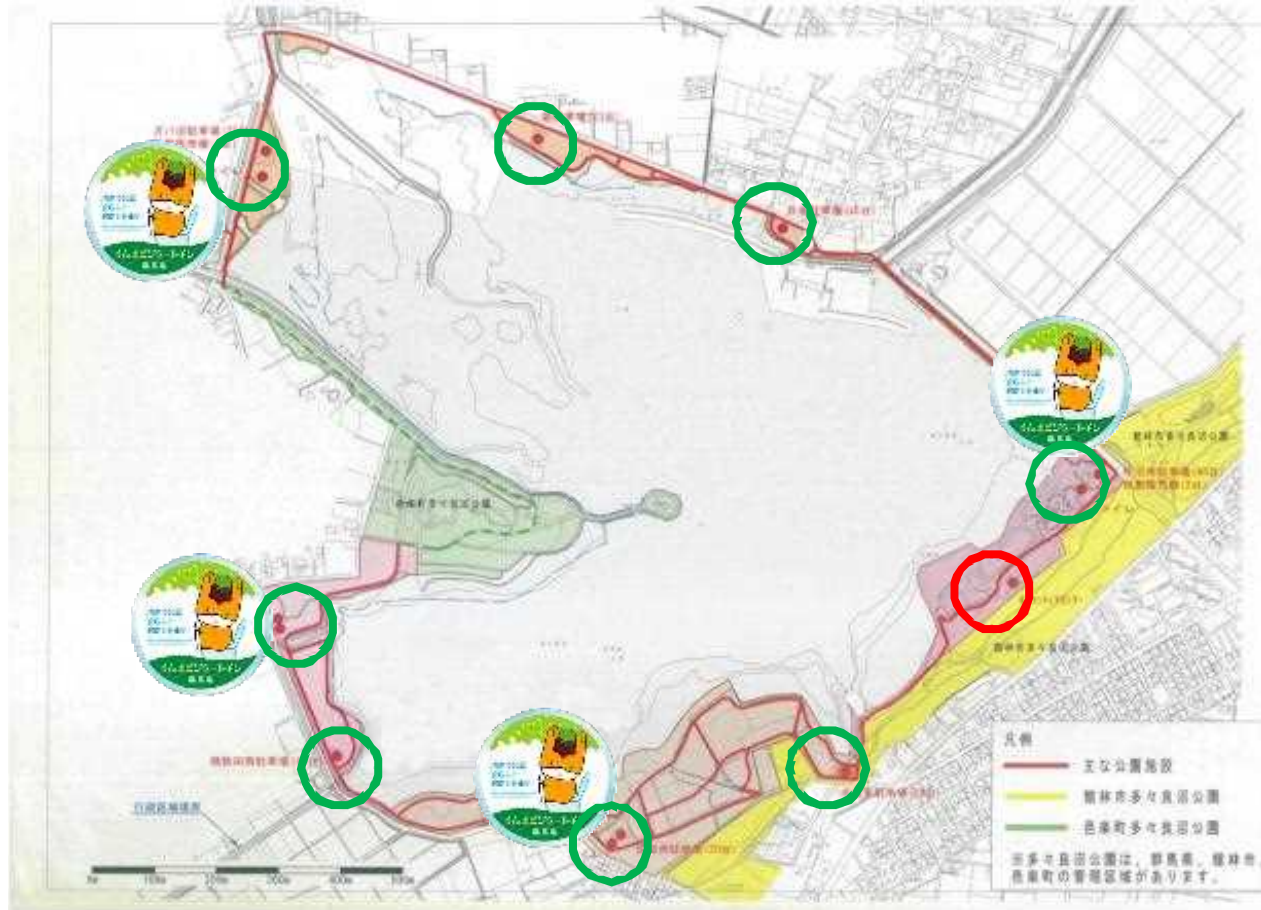
☆日向漁協

栈橋・魚釣り

☆浮島弁財天

邑楽町多々良沼公園・藤棚

多々良沼公園の概要



ボランティアセンター
(管理事務所)

公衆トイレ 4ヶ所
(すべて群馬県ビジタートイレ認証)

駐車場 8ヶ所
(合計188台)

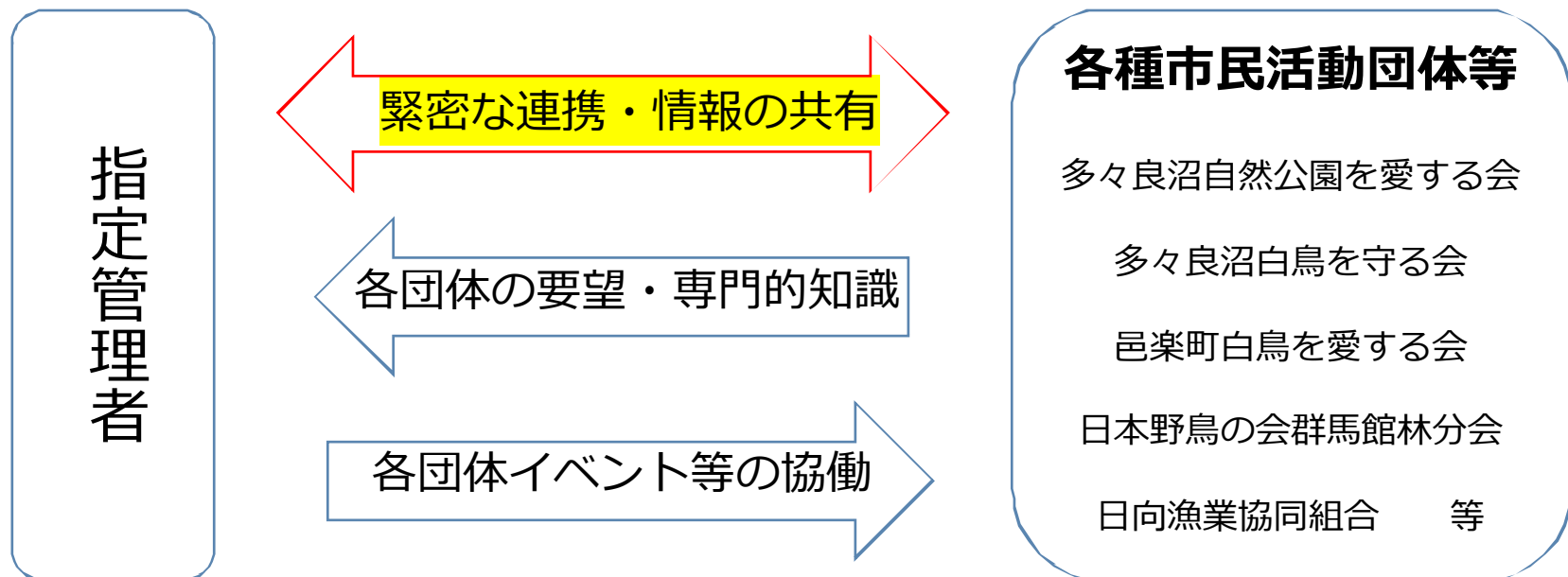
管理運営の基本方針

私たちは「多々良沼・城沼自然再生協議会の掲げる基本理念のもと



- ① 21世紀にふさわしい「人と沼の創造と再生」に向けて日々活動している各種市民団体、ボランティアグループ、地域住民の方々が、安全かつ円滑に行われるよう、連携・情報共有します。

実現の具体策



公園維持管理

植栽管理

樹木管理
2,833本



剪定・刈り込み (年2回)
病害虫防除・枯損木処理
・施肥
植込地除草・灌水等 (適宣)



植物管理

植栽地・芝生
園路等管理
126,800m²



芝刈り・除草 (年8回)
目土掛け・エアレーション
不陸整正 等 (適宣)



点検業務

各種
法定点検
遊具点検



消防設備総合点検
浄化槽保守・清掃・検査
遊具日常・定期点検
(専門業者へ委託 年1~4回)

清掃・警備業務

園内・トイレ
事務所等清掃
園内巡視



園内清掃 (毎日2回)
トイレ清掃 (毎日2回)
事務所清掃 (適宣)
巡回パトロール (毎日2回)



自主事業について

野菜即売会

毎月 第2土曜日の開催



焼き芋販売



昨年度は約1,500名の方々が利用

自主事業

自然観察ウォーキング



県民探鳥会



ミニ自然観察会



青空ヨガ教室



ズンバ教室



消毒等の実施



自主事業

白鳥絵画コンテスト



フォトコンテスト



自主事業

花苗プレゼント



三二門松教室



自然再生協議会事業

生態系の保全



外来種（オオブタクサ） 抜取り作業



多々良沼自然公園を愛する会事業



生態系の保全・水質改善

ヨシ焼き



指定管理者事業

親水性の向上：歴史を語り伝える人等の育成

館林市立第八小学校 4年生 出前授業



新型コロナウイルス感染症が蔓延してるなか、県立多々良沼公園では、通常の維持管理のほか、公園地域の活性化のため自主事業等イベントを開催しています。

また、自然再生協議会の基本方針や目標を理解し、取組みについても積極的に参加、少しでも目標が達成できるようボランティア団体との協働を進めます。

今後も来園者の安全・安心の確保に努め、景観に配慮した維持管理に取り組めます。

県立多々良沼公園：指定管理者

J A 邑楽館林千代田町緑化組合